

晩秋や野花の一期種こぼし

西町 金澤 頼子

初氷踏んで遊ぶ子なつかしむ

元町 印牧 安子

とし重ね燻る秋刀魚の厨かな

緑町 齋藤 嘉子

宝石に似しとも思ふ霜の花

仲町 坂部 和子

霜ふんで畑見廻る夫の背

元町 西崎 弘子

雪虫の一日の命幹に付き

屯田町 古屋 克江

ひっそりと逝きし友あり野菊咲く

屯田町 伊藤 タカ

若僧侶帰山許され秋の暮

仲町 徳井 隆男

水墨のにじむ人影秋時雨

藤本町 池田 良子

窓ぎわのジャコバサボテン紅をさす

仲町 玉野 研一

緋に染まりなぜに紅葉よ散り急ぐ

元町 竹内スミエ

古里の夕日傾く秋の暮

旭町 大河 茂

球根の丸きを抱いて冬の園

仲町 梅基 敬子

球根に土寄せ葉寄せ秋も寄せ

南桜町 宮腰 幸子

秋深き土台ばかりの街の跡

旭町 宝澤 房子

とり入れを終へて旅行の荷をつめる

西岡町 児玉 洋子

佛前のひとときわ映ゆる柿の色

西岡町 渋谷みさ子

銀杏散る幼稚園児の列の中

旭町 大河内清枝

木枯の夜明けと共に去りにけり

西町 岸波 君江

絵の下手な家系に生れ紅葉山

藤本町 高井 孝子

一株の檀まがきの紅葉庭締まる

東町 高草木喜代子

新米の粒の際立つ朝御飯

西岡町 高瀬久美子

玄関に最後の小菊飾られし

東町 高橋世津子

露寒に日の出を見むと海へむく

西町 文梨 清子

大世帯の想い出すくふ煮凍り鍋

仲町 芳賀 星子



ちび魔女さん

パール・イルナール 文  
 エモ・ウート 絵  
 ひさかたチマイロ

主人公のクワチルビちゃん  
 は朝からご機嫌ななめ。嵐が来たかのように部屋を荒らし、家中暴れまわって八つ当たりと、その姿はまるで魔女のよう…布団の穴の中にあむ恐ろしいドラゴンさえも従えるほどです。ストレス発散ができれば、お片付けの魔法を使ってほしいであれ。

### information 絵本の館から



みずたまちゃん

林 大林 文  
 あきくさ あい 絵  
 鈴木出版

水玉模様が大好きなため、全身水玉のコーディネートで雪の中をお出掛けある「みずたまちゃん」が、出あった動物たちにひとつひとつ衣装を貸してあげるおはなしです。みんなで暖かさを共有していくと、少しずつ明らかになる「みずたまちゃん」、さて正体は何でしょうか。

### 今月のおすすめ絵本

- 新着図書
- ・14歳からの原発問題 雨宮処凛 著
  - ・父さんの手紙はぜんぶおぼえた  
 タミ・シエム＝トヴ 著
  - ・絵本の森の迷い道 我妻玲子 著 ほか